

ようこそ 教育長室へ

教育長 高木 秀人

前回に引き続き、市川市が策定した「市川市総合計画2050」の中から、教育委員会関連の事項をお伝えします。

<https://ichikawa2025.mlg.asp.lgwan.jp/page/53362.html>

Ⅲ 基本計画 令和8(2026)～令和16(2034)年度

1 重点項目<18～26頁>

重点項目① 持続可能な人口構成の維持

少子化の進行や子育て世代の市外転出に伴う担い手減少という行動的な問題に対応するため、年少人口と生産年齢人口の定住促進や出生率の向上を図ることで、持続可能な人口構成を維持します。

重点項目② すべてのこどもたちの可能性を広げる環境の整備

こどもの権利侵害や子育て環境の複雑化・多様化への対応、誰一人取り残さない学びの保障に向け、こどもに関わる施策を総合的に推進し、こどもたちの可能性を広げる環境を整備します。

重点項目⑦ まちの一体感の醸成

市民と市民、市民と地域のつながりが希薄となる中、多彩な文化やスポーツの力を生かして、市民・自治会・NPO・企業・大学などが連携し、多様なつながりを創出することで、地域としての結びつきを強化し、まちの一体感を醸成します。

2 計画の推進にあたって<27～29頁>

① 4つの視点

視点1 クリーンな市政運営 視点2 選択と集中
視点3 市民参加・協働・共創 視点4 広域連携による充実した市民サービス

② 具体的な行財政運営の取り組み

① 行政の効率化、② デジタルの活用、③ 多様な主体との連携、④ 近隣自治体との連携、
⑤ 人材の育成・確保、⑥ 健全な財政運営、⑦ 公共施設マネジメント

3 施策別計画

03 こどもの教育<38・39頁>

施策の目標

すべてのこどもたちの学びが保障され、一人ひとりの可能性を広げるための環境の実現を目指します。

主な取り組みの方向性

① 一人ひとりの可能性を広げる教育

こども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばし、必要な資質能力を育成するため、確かな学力、豊かな人間性、それを支える健康な心と体を育みます。

個別最適な学びを提供するとともに、こどもたちが互いの多様性を認め、高め合う協働的な学びの機会を確保します。また、国際化やデジタル社会に対応するための教育を推進するとともに、研修を通じて、教員の指導力の向上を図るなど、指導・運営体制を充実していきます。さらに、教育の充実と環境改善を図るため、学校施設の計画的な整備を行います。

運動や食を通じて健やかな体を育成するとともに、社会全体でこどもの成長を支えるため、今後も安心で充実した学校給食を提供するとともに、無償化を継続します。

- 「主体的・対話的で深い学び」による資質・能力の育成
- 調和のとれた学びの充実
- 英語活動・英語教育の充実
- ICTの活用推進
- 学校施設の計画的な整備
- 運動を通じた健やかな体の育成
- 安心で充実した学校給食の提供
- 学校給食費の無償化